



“黒松内岳山頂にて” 左下から時計回りに本間、古本、岡本、澤田

第5回総会終了の報告

今去る、5月26日(水)、第5回通常総会がおかげをもちまして無事終了しましたことをご報告いたします。昨年同様、総会は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、来賓の出席者を控え、議事進行も簡略化し、粛々と執り行われましたが、異議なく議案のすべてが原案どおり可決されましたことを併せてご報告申し上げます。

今年度は役員改選に伴い、長きに渡り会長を務められました小間憲二会長が退任され、新会長に小谷孝夫氏が就任しました。また、菅原正久理事、及川雅子監事が退任し、小間章弘氏、菅原正史氏、梶誠之氏が理事に、池田重人氏が監事にそれぞれ就任しました。総会後の挨拶で小間前会長は、会員の方々に感謝の意を伝えるとともに小谷新会長にエールを送りました。尚、小間前会長は6月28日に開催される公益社団法人北海道観光振興機構の総会の席で「令和3年度観光振興功労者」として表彰されることが決まっています。

小谷新会長は就任挨拶の中で「黒松内の豊かな自然環境とその恵みを多くの方々へ積極的に発信していきたい」と述べました。

昨年同様、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、旅行業、宿泊業をはじめとする観光業界は大変厳しい状況を迎えることが予想されます。しかし、小谷新会長をはじめ、新任、再任された理事・監事の皆様、会員の皆様のご期待に添えるよう事務局職員一同、より一層のサービスを目指し、業務に尽力して参る所存でございます。その節はよろしくお願いいたします。

(事務局長・本間)

B2 ニュースレター

2021/6/30

地域飲食店・宿泊施設を応援しましょう！

Beech Couple Vol.1

※Beech は英語でブナ

今回は添別地区に住む明石夫妻を取材しました。自然や鳥など共通の趣味を持つお二人に黒松内での生活について伺いました。

ページ 2

じり通信 No.20 文：山本竜也

今から100年以上前、黒松内でおそらく初めて飛行機が飛んだ。当時は誰も見るものの出来なかった黒松内上空の風景も、今はドローン等で見ることができる世界に変わった。

ページ 2

フットパスクラブ通信 Vol.9

7月のフットパスイベントへ向け、チョボシナイコースの人道橋に溜まったイタドリを除去、橋の架替えを行いました。

ページ 3

くろまかない飯 レシピ：大淵勲

歌才自然の家料理長、大淵シェフに賄いレシピを伺いました。が、なぜか豪華レシピを伝授されました。パーティなどで！

ページ 3

<<観光協会主催イベント>>

黒松内岳登山会

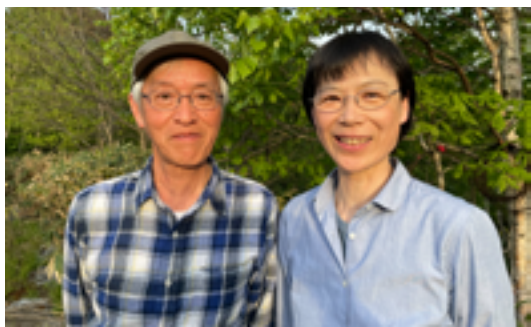
7月3日(土) 8時～

5月30日に予定しておりましたが緊急事態宣言発出のため延期となっておりました黒松内岳山開きですが、登山会として7月に実施いたします。

Beech Couple Vol.1

今年度は町内の素敵なご夫婦を紹介する予定です。
第一回は添別の明石さんご夫妻です。

※Beech は英語でブナです



明石嘉之さん 明石かおるさん
1958 生まれ京都府出身 1961 生まれ東京都出身
自然ガイド ブナセンター職員
結婚 36 年 / 黒松内町に移住したのは 29 年前

Q1：黒松内町に来た理由は？

嘉) 新規就農者として来ました(※2017年に農家は引退)。サラリーマン時代はバブルで、何事も派手な時代。8年間仕事したけれど、本当に必要なことなんだろうかと思うことが多かった。もっとやりがいのある仕事として、食べるものを作る農業をしてみようと。それと学生時代を過ごした北海道に住みたくて。道内を何か所か回って候補地を探していたところ、全くの素人である私たちを温かく迎え入れてくれたのが黒松内でした。

か) 当時はゴルフ場やスキー場など、リゾートの誘致で町おこしをするところも多かったのですが、黒松内は町の自然を生かして身の丈に合った町づくりをしようとしていたのも魅力でした。

Q2：移住して良かったことは？

嘉) 車で2〜3分のところに素晴らしいブナ林があって毎日楽しめる。家にも窓の外に鳥が飛んできて双眼鏡で観察できるところがすごくいいですね。

か) 森があって川があって、近くに海もあるので、山の幸・海の幸の両方が楽しめます。コンパクトに自然がぐっと凝縮されたところが黒松内のいいところ。

Q3：町内の好きな食べ物

か) 私はお菓子好きが高じて、お菓子屋さんに勤めていたこともあるのですが、すずやさんの和菓子は最高に美味しいと思います。特に薯蕷まんじゅう。あとマザーネイチャーさんのパンとケーキはどれも大好きです！幸せを感じるひと時ですね

Q4：結婚して良かったなと思うことは？

嘉) 学生時代から趣味が同じで、北海道のあちこちの自然と一緒に楽しんでいました。自然だけでなく様々な好みが一致しているので、かなりの部分で“似た者夫婦”。これほどのパートナーはまあいないでしょう？！(笑)

か) 黒松内の30年間は山あり、谷あり。ともに乗り越えてきたのでなおさらですね。

【編集から一言】黒松内町に移住して、より絆が深まったという明石さん御夫妻。ごちそうさまでした♡古本

じり通信 No.20 「黒松内に飛行機が飛んだ日」

文：山本竜也

1919年(大正8)10月5日12時30分。黒松内村蕨野原野は快晴に恵まれ、風も吹いていない。4000人の人々が見守るなか、爆音とともに複葉機「剣号」が走り始める。10秒後、大空へ機体が舞い上がった。

操縦士の井上武三郎陸軍中尉は上昇しながら蕨岱方面から黒松内市街地上空へと旋回する。3周して、高度900メートルにまで達し、その後、低空飛行に移る。観衆に手に汗握らせる妙技を見せ、大歓声に迎えられつつ17分後に着陸した。

黒松内に飛行機が飛んだのは、おそらくこれがはじめてである。当時、岸一太という医師であり工学技師でもあった人が、赤羽飛行機製作所を設立し、国産飛行機を製造していた。その生産機を北海道に持ってきて、各地で飛行会を行うにあたり、黒松内も選ばれたのである。

1903年(明治36)のライト兄弟の初飛行から16年しかたっていない頃のことだ。倶知安や小樽では、1917年(大正6)にアメリカ人、アート・スミス(鳥人スミス)が

飛んでいるが、黒松内のほとんどの人たちは飛行機を見たことがなかったろう。地元のみならず、汽車に乗って見物にやってくる人もいた。貨物列車に臨時客車を連結するなどして、客を黒松内に運んだという。

井上中尉は「今回の飛行は天気も良くて楽でした。寿都方面も長万部方面もよく見えて、景色よく、愉快でした」との談話を残した。しかし、今では、井上中尉の見た光景もドローンで簡単に撮影することができる。100年たてば、世は一変することを実感する。



フットパスクラブ通信 Vol.9

チョポシナイコースの橋と川の間にイタドリが溜まっている

雪が解けて、新芽が芽吹く季節となる頃、フットパス事務局へ一通の連絡が来ました。後日状況を確認すると、なるほど確かに多くのイタドリが溜まっていました(写真1)。イタドリが溜まる原因は川の水面と橋の底面の隙間が狭いため、川下へ流れず橋に引っかかってしまうためです。事務局はイタドリを除去してから橋の製作を行う事としました。

まずは半日かけて川へ入り水面、水中に堆積していたイタドリの除去を行いました(写真2)。また、橋の足場板が朽ちていて危険な状況であったため撤去しました。次に橋と川幅の寸法を測ったのち、橋の製作のため設計作業に入り、試行錯誤の末、今ある橋を補強しつつ長さを伸ばし、高さを確保する事にしました。6月17日、単管で橋の補強を行い、足場板も新しくしました(写真3)。橋を歩いても揺れを感じないほどとなり、想像していたよりも頑丈な仕上がりとなりました。地面から橋にかけてのスロープの部分は仮固定の状態ですが今後すぐに本取り付けを行う予定です。

6月18日に草刈りも行い、7月4日のフットパスイベントに向けて気持ち良い一日を体験してもらえよう、着々と準備を進めています。(事務局・岡本)



写真1



写真2



写真3

くろま^あかない飯

～ポークビーンズグラタン～

黒松内の料理人にまかないレシピを覚えてもらう企画！第一回は歌才自然の家の大淵シェフ。

くろまつないの大豆を使ったメニューを紹介してくれました！ちょっと時間がかかるのですが放置して時々かきまぜればよいので難しくはないそうです。

【材 料 (2～3人分)】

- ・大豆…ひとつかみ
- ・豚肉(何でもOK)…200g
- ★玉ねぎ…1/2個
- ★にんじん…1/2本
- ★セロリ…1/2本
- ★にんにく…2～3片
- ★しょうが…ガムシロップ大ひとかけ
- ・水…1500cc
- ・ケチャップ…適量
- ・ホールトマト缶…1缶
- ・ピザ用チーズ…適量
- ・乾燥パン粉…適量
- ・パセリ…適量
- ・塩こしょう…適量
- ・砂糖…適量
- ・昆布…1枚



シェフのワンポイント

昆布だしがポイント。
うまみがあればだいたい美味しくなります。

作 り 方

●下ごしらえ

大豆を水につけておく(30分～1時間)。

その後吹きこぼれるくらいまで大豆を煮てザルにあげておく。

- ①★の野菜をみじん切りにする。
- ②鍋にサラダ油をひき、切った野菜をすべて炒める。
- ③野菜に火が通ったら食べやすい大きさに切った豚肉を加え更に炒める。
- ④火が通ったら1500ccの水と昆布を加え、フタをせずに煮込む。
- ⑤沸騰させて水が2～3cm程減ったところでトマト缶を入れさらに煮込む
- ⑥具材が水面から出る少し前の水分量になるまで煮込み、ケチャップ、砂糖、塩で味を整える。(更に煮詰まっていくのでここでは少し薄味めに！)
- ⑦ペースト状になるまで更に煮詰めていく。

※たくさん作ってこのペースト状態で冷凍保存してもOK

⑧耐熱皿に事前にバターをぬっておく(分量外)。ペースト状に煮詰まったら耐熱皿にもる。

⑨チーズとパン粉をふる。

⑩予熱しておいたオーブントースターでチーズとパン粉に焼き目がつくまで焼く。

⑪パセリをふって完成！



6月1日よりヤマメの遊漁期間開始

今年も6月1日よりヤマメの遊漁期間が開始となりました。観光協会でも例年同様「手ぶらで溪流釣り体験」としてホームページやOTA（オンライン旅行会社）などでヤマメ釣り体験を販売していきます。釣り体験は日本人人気ナンバーワンのアクティビティですので、コロナ禍において外国人の集客がない中、体験商品販売の中心となっていくと考えています。解禁後すぐの6月中も土日を中心にお申し込みがありましたので、今後夏休みシーズンもお申し込みがあると期待しています。

6月27日にはヤマメ釣りのみならず「食」まで含めたイベントを行います。（このニュースレターが発行される頃には無事終了している予定です）釣りはしてみたいけれど釣った魚をどうやってさばいていいかわからないという方にもピッタリのイベントです。

7月1日には鮎の遊漁期間も開始します。今年も観光協会では鮎に関する体験やイベントも引き続き行っていく予定です。（事務局・澤田）



おかもとたつや
岡本達也
1986年7月20日
生まれ（34歳）
小樽出身
血液型：B型
既婚
趣味：スポーツ観戦（何でも）、アメフト、野球、サイクリング、家庭菜園、キャンプ（これから始めます）



4月から地域おこし協力隊として観光協会へ着任いたしました岡本です。出身は小樽ですが、就職のタイミングで上京し重電企業へ勤め、一般産業向けのモータ及びインバータの技術及び営業を務めておりました。地元を離れた事で北海道の魅力、他地域との違いを再認識し、その良さを広めたいと思ったのと、観光協会の仕事の内容が自身の趣味・趣向と合致していたため、Uターンを決意しました。前職からは全く違う業種であるため一からの勉強となりますが、頑張っていきたいと思います。

観光協会としてコロナの影響で減少した観光客数を増やすよう、新しいイベントの企画を行う等をして町の発展に貢献していきたいと思っておりますので、何卒応援のほどよろしくお願いいたします。

観光協会新職員の一人です



ふるもとよしひと
古本世志人
1975年3月31日
生まれ（46歳）
苫小牧出身
血液型：B型
独身
趣味：溪流釣り、キャンプ系アウトドア全般、バイクツーリング、道の駅巡り、映画鑑賞

みなさま初めまして。4月から地域おこし協力隊として観光協会に新任しました。前職は東京でテレビ番組の制作を25年間手掛け、ディレクターやプロデューサーを経験してきました。携わった番組がドキュメンタリーからバラエティ、ワイドショーなどといったことから芸能界の裏の裏まで知り尽くしております。たまにあんなことやこんなことなど業界の裏話をお話しできる範囲でさせていただきます。

それはさておき、今後観光協会の一員として、前職で培った経験を活かし、映像でのPR、そして新イベントの企画などによって黒松内町に貢献できればと思っております。また北海道新聞の通信員にも新任いたしましたのでそちらでも町をPRできればと思います。何卒ご協力の程、宜しくお願い致します。